

学校訪問シリーズ 53

大分市立吉野小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心ゆたかに たくましく生きる児童の育成～自主（自分から取り組む）・自立（自分で決める）・寛容（互いを認める）～」を達成するために、全校集会や行事等においては常に「自主・自律・寛容」について触れながら、最上位の目標の理解や実践をよびかけています。

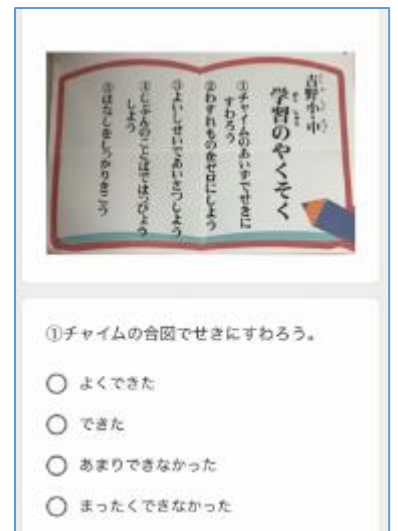
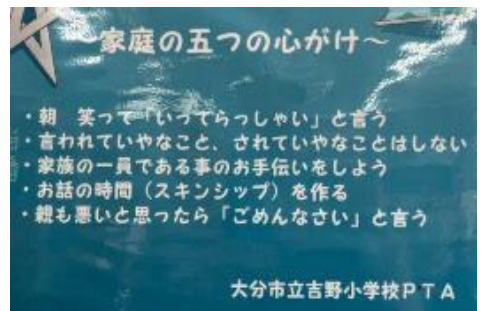
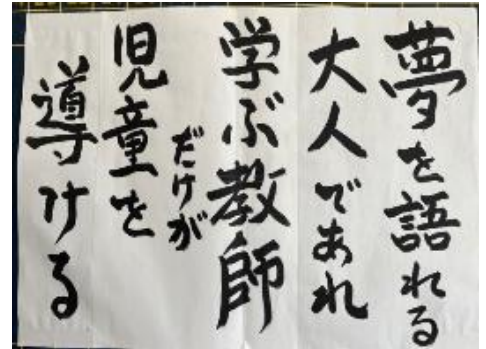
また、吉野校区の「15の春の夢の実現」に向け吉野中学校と共に、育成を目指す資質・能力を「言語能力（聞く力）」と定め、小中合同の研修会を行っています。さらに、2学期からは、定期的に両校長が集まり、学校や校区の情報を共有することにより吉野校区の課題を明確にすることで、効果的に小中一貫教育を推進しています。

校内においても、「学力向上」「体力向上」「心育て」の3部会を活性化し、企画委員会を効果的・効率的に行い、職員会議で周知させる組織マネジメントを実働させることで、それぞれの職員のやりたいことを組織的に行えるようにしています。

授業から学ぶ

ICTの活用や板書の工夫、実測させる等工夫のある授業を行っており、子ども達が意欲的に学ぶ姿がみられました。特に2年生国語は、子ども達の発言から「課題」をつくることで意欲を喚起し、細かく時間を設定することでメリハリのある展開が印象的でした。

今後は、授業においても「自主、自律、寛容」を行うために、子ども達同士で学び合う場を1時間の授業の中で複数回設定してみたいかがでしょうか。また、そのような場における教師の立ち位置については、より俯瞰的に見ることで、それぞれの学び合いの様子を評価し、次への活動に活かされるとよいと思います。



↑ I-pad で瞬時に集計



自主

自分で考える。次に、友達と交流して考えを深める。高め合う仲間がいるから行動できる。



自律

自分で考えて、決めた事だから自信をもって行動できる。周りに流されない。



寛容

自分の説明を理解しようとする仲間がいる。だから、友達の発言も共感的に聴くことができる。